



中央公園再整備計画



平成 27 年 3 月
茅ヶ崎市

目 次

1.	計画の目的	1
2.	中央公園の概要	2
3.	中央公園の位置づけ	4
4.	中央公園の特徴と課題	6
5.	市民アンケート・現地ヒアリング調査等概要	12
6.	再整備の全体方針	14
7.	主要施設の再整備内容	16
8.	整備スケジュール	40

1. 計画の目的

中央公園は、茅ヶ崎市の中心部に位置する面積約 4.0 h a の地区公園です。周囲には、西側に市役所・市民文化会館、南側に茅ヶ崎中央病院、東側に住宅地、北側に工場がそれぞれ隣接しています。昭和 59 年 4 月に供用開始以降、中心市街地に近く市役所に隣接していることから、緑が少ないこの地区の貴重な緑の空間と憩いの場として、また市や自治会関連などの様々な全市的な行事の場や幼稚園や小中学校の遠足、緑や自然に親しめる場として等、幅広い世代の方々に利用されています。

また、広域避難場所にも指定されており、災害時の防災拠点となる他、市街地と工業地帯を隔てる防火帯としての役割も担っています。

多くの方々に利用され、市内の中心的施設の一つとして様々な役割のある中央公園ですが、供用開始から約 30 年が経過し、施設の老朽・劣化が目立ち始めるとともに、園内の樹木の生長により、見通しの悪い空間が散見される等、安全性が懸念されています。その他、公園出入口や園路のバリアフリー対応や災害時に対応できる機能、施設の充実などが求められています。

こうした背景を契機とし、公園の施設改修や空間の再整備が必要であると考え、従来の特長を活かしつつも社会のニーズに対応したより魅力的な公園に再整備を行うため、本計画を策定しました。



2. 中央公園の概要

中央公園は、市の行政・文化・経済の中心地区である市役所周辺の一角に位置する面積 4.0ha の地区公園です。茅ヶ崎駅からの距離は約 500m と近く、西側には市役所・市民文化会館、南側には茅ヶ崎中央病院、東側には住宅地、北側には工場がそれぞれ隣接しています。

茅ヶ崎市内の公園には、市北部に茅ヶ崎里山公園、殿山公園が、南部に汐見台公園、小和田浜公園、茅ヶ崎公園、相模川湖畔スポーツ公園、湘南わくわく公園があります。市北部の公園については主に里山文化体験や散策等に利用され、市南部の公園については主にスポーツ利用がなされています。

一方中央公園は、市中心部最大の公園であり、レクリエーション空間として多種多様な目的に利用されています。また、広く平坦な広場の存在や良好な立地条件から、イベント会場としての利用も多くなされています。この様に中央公園は、市中央部の代表的な公園として多くの市民に愛され、身近なオアシスとして、幼児から高齢者までの幅広い年齢層に日常的に利用されています。

表 中央公園概要

公園名称	中央公園
面 積	4.0 ha
公園の種類	地区公園
都市計画決定 (事業認可変更)	昭和 55 年 2 月 15 日 (昭和 60 年 3 月 12 日)
供用開始	昭和 59 年 4 月 21 日

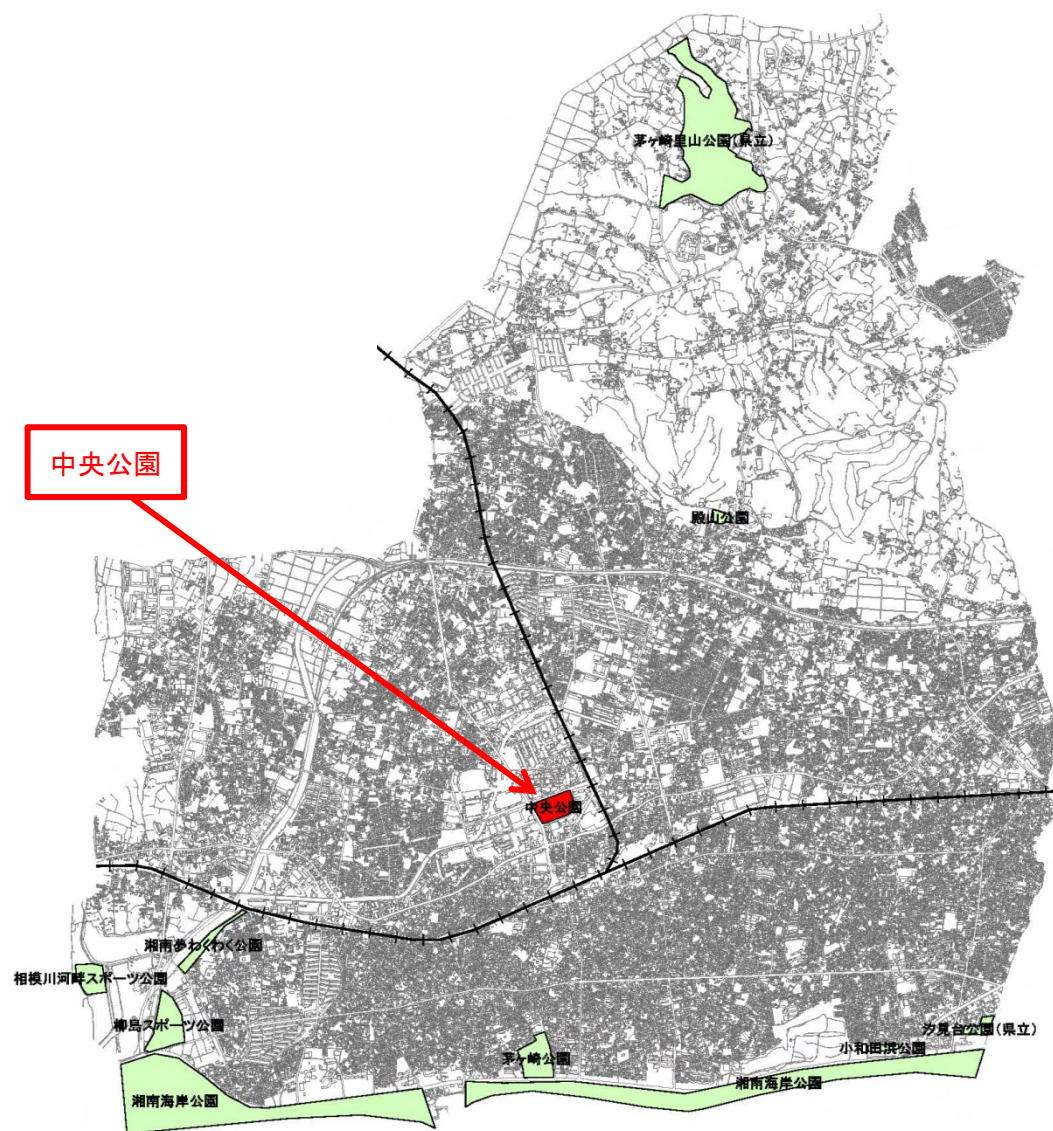


図 市内主要公園位置図

公園名	主な公園利用
茅ヶ崎里山公園、殿山公園	丘陵地を活用した里山文化体験、散策
中央公園	多様なレクリエーション、イベント
汐見台公園、小和田浜公園、茅ヶ崎公園、柳島スポーツ公園、相模川湖畔スポーツ公園、湘南わくわく公園、湘南海岸公園	広さ等を活用したスポーツ

※相模川湖畔スポーツ公園は、柳島スポーツ公園として平成 29 年度中に移転予定。

3. 中央公園の位置づけ

中央公園やその周辺は、市の中核機能を有することもあり、様々な計画が定められ、事業も進行中です。

以下に、中央公園に直接的に関係する主な計画等を整理します。

分類	計画名等	位置づけ・役割
分野別 基本計画	みどりの基本計画	- 中央公園は、市街地中心部における唯一の「レクリエーションの拠点となる地域」と位置付けられている。 - 茅ヶ崎駅周辺は「緑化重点地区」に指定され、その中で中央公園は「景観重要公共施設」として良好な景観を形成し、みどりの保全を図るとされている。
分野別 基本計画	景観計画	- 中央公園は「茅ヶ崎駅北口周辺特別景観まちづくり地区」の「行政文化街区」として位置づけられ、その中で「景観重要公共施設」に指定されている。 「行政文化街区」として、千ノ川沿いの水辺、中央公園のみどり、街路樹などの豊かな環境を保全し、街に安らぎと親しみを感じさせる景観の形成を目指すとしている。
防災分野	地域防災計画	- 災害時には、梅田小・中学校、市役所、総合体育館とともに「広域避難場所」に指定されており、避難者が一時的に滞在することになる。 - 消防庁舎、文化会館とともに「防災拠点（活動拠点）」に指定されており、消防の応急対策活動、各種広域応援部隊等の活動拠点と位置付けられている。
地域別 個別計画	行政拠点地区 再整備基本構想	- 中央公園は行政拠点地区内の公共施設の一つとなっている。 - 行政拠点地区再整備にあたり、中央公園の再整備方針として、行政拠点地区の各施設を連携させる軸の機能を拡充すること、現状の機能維持を前提に、都市公園法の枠の中で、公園の活性化に資する機能を付加することを検討すること、本庁舎跡地とあわせ、民間事業者の提案を求め、本庁舎跡地や地区内の公共施設との連携による有効活用を検討すること、が定められている。

中央公園の位置づけ・役割

- ・「レクリエーション拠点」として位置付けられている。
- ・「茅ヶ崎駅北口周辺特別景観まちづくり地区」の「行政文化街区」として「景観重要公共施設」に指定されている。
- ・災害時には、「広域避難場所」に指定されているとともに、「防災拠点（活動拠点）」に位置づけられ、防災上の重要な役割を担っている。
- ・行政拠点地区内の施設として、再整備にあたっては、行政拠点地区の各施設を連携させる軸の機能を拡充し、公園の活性化に資する機能の付加を検討するとして方針が定められている。



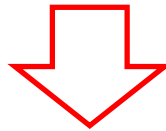
図 中央公園周辺主要施設等位置図

4. 中央公園の特徴と課題

以下に、中央公園の特徴を整理します。

●中央公園の特徴

- ①市の中央部に位置し、茅ヶ崎駅からも 500m と**利便性が高い**。
- ②隣接地には行政・文化・商業施設が集積され、それらと連携した利用機会が多い。
- ③市内の公園でも**トップクラスの面積**がある（4 ha）。
- ④3方向が樹林で囲まれた大きな広場があり、**落ち着いた雰囲気**がある。
- ⑤広場には大きなケヤキが適所にあり、**柔らかな木陰**を作っている。
- ⑥広場の一角にはステージがあり、**各種イベントも開催**されている。
- ⑦周囲の樹林には、やや起伏を持った散策路があり、**散策等に活用**されている。
- ⑧**滝やせせらぎ**があり、**市街地の貴重な水と緑の空間**となっている。
- ⑨**利用者層は幼児から高齢者**まで、また、利用形態は個人から団体まで、さらに**利用別目的は実に多種多様**となっている。
- ⑩西側は主要道路に面し人通りが多く、歩道と公園通路が相まって、歩行空間が幅広く確保されている。
- ⑪西側は主要道路に面し公園トイレが配され、歩道利用者も含めて利用されている。



市民の身近なオアシス

広々とした広場を中心にして、
幅広い年齢層に
様々なシーンで
利用されている



●中央公園の特徴 事例写真（写真は前項の番号と対応）



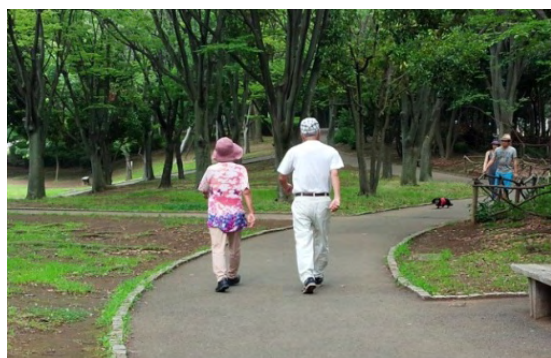
④ 3方向が樹林で囲まれた大きな広場があり、
落ち着いた雰囲気がある。



⑤ 広場には大きなケヤキが適所にあり、
柔らかな木陰を作っている。



⑥ 広場の一角にはステージがあり、各種イベントも開催されている。



⑦ 周囲の樹林には、やや起伏を持った散策路があり、散策等に活用されている。





⑧ 滝やせせらぎがあり、市街地の貴重な水と緑の空間となっている。



⑨ 利用者層は幼児から高齢者まで、また、利用形態は個人から団体まで、更に利用別目的は実に多種多様となっている。



⑩ 西側は主要道路に面し、公園トイレが配され、歩道利用者も含めて利用されている。

以下に、中央公園の主要課題を整理します。

▼中央公園の主要課題

- ①供用開始 30 年を経て、**各施設の老朽化**が目立ち始めている。(写真番号 1)
(特に、管理棟内のトイレ、ステージ、水景施設)
- ②樹木が生長し、日差しが入らず暗く、また、見通しが悪くなり防犯面でも支障がある。
(写真番号 2, 3)
- ③花が比較的少なく、彩りという点で魅力が少ない。(写真番号 4)
- ④出入口が小舗石舗装であり凸凹が大きく利用しにくいこと、また、主要園路が部分的に急勾配で**バリアフリー**という観点で**支障**がある。(写真番号 5, 6)
- ⑤滝やせせらぎ、池の水質が良好ではなく、また、循環系の一部に支障があり上池周辺に水があふれる時がある。(写真番号 7, 8)
- ⑥外周道路の歩道が狭く、すれ違い歩行に支障がある。(写真番号 9)
- ⑦**災害時を想定した施設整備**が十分ではない。

<写真番号>

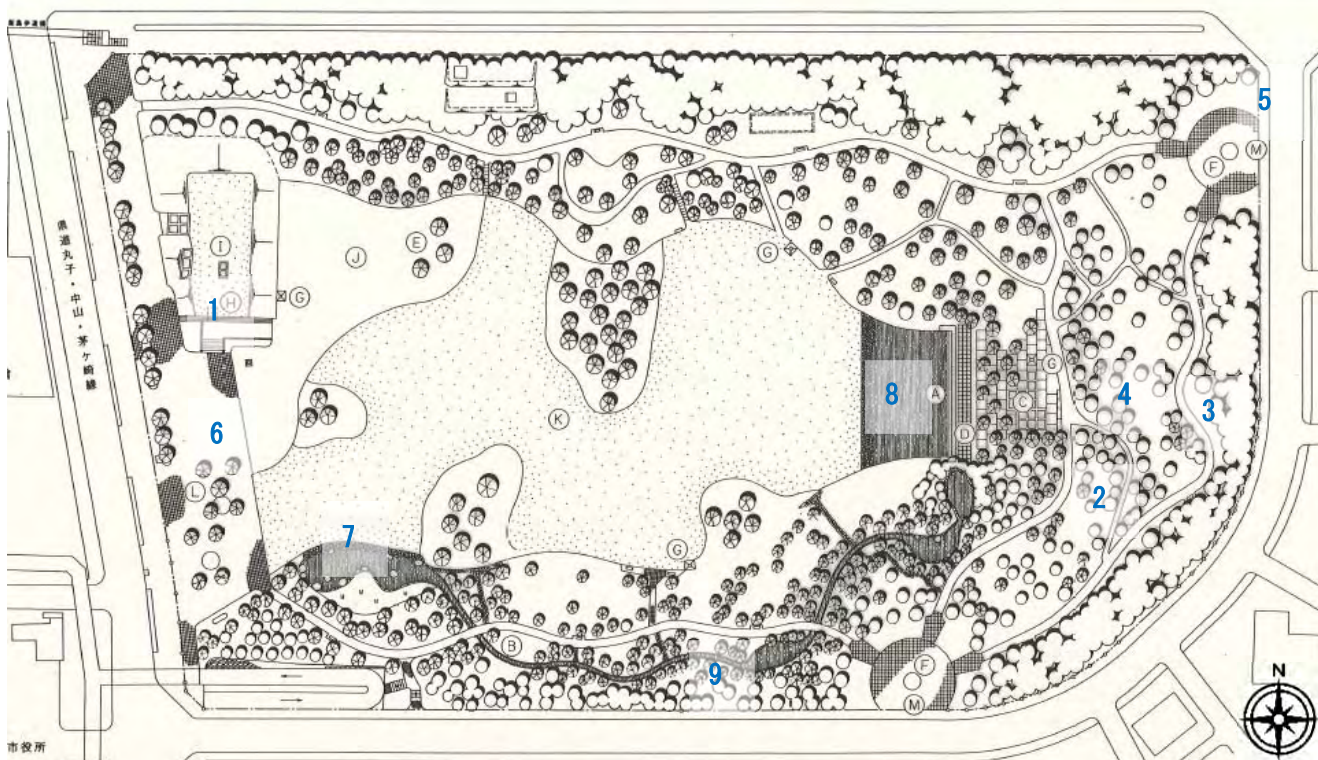


図 中央公園平面図

▼中央公園の主要課題 事例写真（写真番号は前頁平面図上の番号と対応）



①供用開始 30 年を経て、**各施設の老朽化**が目立ち始めている。



②樹木が生長し、日差しが入らずに暗く、また、見通しが悪くなり防犯面でも支障がある。



③花が比較的少なく、彩りという点で魅力が少ない。



④出入口が小舗石舗装であり凸凹が大きく利用しにくいこと、また、主要園路が部分的に急勾配で**バリアフリー**という観点で支障がある。



⑤滝やせせらぎ、池の水質が良好ではなく、また、循環系の一部に支障があり上池周辺に水があふれる時がある。



⑥外周道路の歩道が狭く、すれ違い歩行に支障がある。

5. 市民アンケート・現地ヒアリング調査等概要

公園の特徴及び課題の抽出に当たっては、市民アンケート及び現地ヒアリング調査等にて、公園の利用者の方々に中央公園再整備に関する意見の聞き取りを行い、反映しました。

以下に、調査の概要を整理します。

■市民アンケート調査

<調査概要>

- ・アンケート実施期間：5月30日～6月11日
- ・アンケート配布数：1,000通（10～70代の市民を無作為抽出）
- ・回収数：325通

<主な質問項目>

- ・中央公園の利用状況について
- ・中央公園の良いところについて
- ・中央公園で印象に残っていること、思い出について
- ・再整備に係り改善して欲しいところについて

<主な意見>

【中央公園の良いところに関する意見】

- ・桜が美しい
- ・木々が多く、木陰が心地良い
- ・広々している
- ・イベントが出来る
- ・散歩に最適な場所である
- ・生き物がいる

【中央公園の改善して欲しいところに関する意見】

- ・トイレが暗くて怖い
- ・花を増やして欲しい
- ・滝や池など水が汚い
- ・芝生を改善して欲しい
- ・歩道を改善して欲しい
- ・ベンチを増やして欲しい
- ・木が鬱蒼としていて暗くて怖い
- ・遊具を設置して欲しい

■現地ヒアリング調査

<調査概要>

- ・調査実施日：7月1日（火）、7月13日（日）
- ・調査対象：公園利用者（団体含む）

<主なヒアリング項目>

- ・中央公園の利用状況について
- ・中央公園の良いところについて
- ・再整備に係り改善して欲しいところについて

<主な利用状況概要>

【平日】

- ・週3、4回～ほぼ毎日利用しているという方が多かった。
- ・ほぼ毎日の利用は、60～70代の方で運動・休憩利用、近隣幼稚園で遊び・休憩利用が中心であった。
- ・週3、4階の利用は親子（母子）連れ・親子（母子）連れ同士の遊び・休憩利用が中心であった。

【休日】

- ・月2回～週1回程度利用しているという方が多かった。
- ・月2回の利用は、市内クラブ等で遊び・運動利用が中心であった。
- ・週1回の利用は、家族連れで遊び利用が中心であった。
- ・午前中は市内クラブ等の活動が数団体見られた。
- ・平日と比較すると若い世代が多く、多種多様な利用（各種球技、生物捕獲等）が見られた。
- ・平日同様、60～70代の運動・休憩利用が多かった。

<主な意見>

【中央公園の良いところに関する意見】

- ・広くて良い
- ・緑が多い
- ・市の中心で集まりやすい

【中央公園の改善して欲しいところに関する意見】

- ・トイレをきれいにして欲しい
- ・ベンチがもっと欲しい
- ・流れをきれいにして欲しい

■バリアフリー基本構想推進協議会市民部会まち歩き点検ワークショップ

(平成 27 年度策定予定)

<実施概要>

- ・実施日：平成 26 年 10 月 5 日（日）
- ・出席者：バリアフリー基本構想推進協議会市民部会

<主な意見交換内容>

- ・具体的なバリアフリーの課題抽出及びバリアフリー化に向けた配慮事項の抽出。

<主な意見>

○出入口・園路

- ・木の根上がりで舗装ががたついていて危ない。

○トイレ

- ・暗くて汚いので利用しづらい。

○案内

- ・自転車が出入口付近にたくさんあって危険である（園内は基本的に自転車の駐輪や走行は禁止）。
- ・案内板の地図がわかりにくい。

6. 再整備の全体方針

前述の様な中央公園をとりまく状況があることから、中央公園の再整備に関するねらいと全体方針・整備方針を次のとおり設定します。

～ 再整備のねらい～

現状の緑を活かしながら、市民の身近なオアシスとして、「より使いやすく」、「より美しく」、「より災害時機能が充実した」公園に再整備します。

■ 全体方針 ■

1. 現況の景観や緑を保全しつつ、

老朽化した施設を再整備します。

老朽化した施設を再整備し、市街地に位置しながら、樹木が多く、四季折々の風景が楽しめる、特に春の桜がきれいで、市のシンボルとなる公園の景観を大きく変えることなく、緑の保全をめざします。

多くの生き物が生息できる環境を整備し、自然教育の場としての利用をめざします。

2. 幅広い世代が利用しやすい公園を

つくります。

段差や急傾斜等のバリアーを解消し、だれでも利用できる公園をめざします。

公園を特徴別にゾーン分けし、幅広い世代の利用者が楽しめる公園をめざします。

3. 災害時に対応できる機能・施設を

充実させます。

災害時には広域避難場所として多くの避難者を受け入れるため、防災倉庫やトイレの整備、かまどベンチやパーゴラといった防災施設の充実をめざします。

■ 主要施設等の整備方針 ■

◆整備カテゴリ（1）：老朽化した建物・施設

- ・ 既存建物の建替え
- ・ 水景施設の安全性強化及水質向上
- ・ 滝上部の有効活用
- ・ 既設ステージは固定的な施設を検討

◆整備カテゴリ（2）バリアフリー化

- ・ 入口部の改善（小舗石舗装の改善等）
- ・ 主要園路の勾配改善
- ・ 触知サイン、誘導ブロックなどの整備

◆整備カテゴリ（3）防災機能

- ・ 防災トイレの設置及び防災倉庫の拡充
- ・ 防災施設の増設（かまどベンチ、パーゴラ）
- ・ 災害時における防災拠点（活動拠点）機能を想定

◆整備カテゴリ（4）植栽

- ・ 芝生の整備（補修）
- ・ 季節を感じられ、彩りのある植物の植栽
- ・ 既存樹木の剪定・伐採

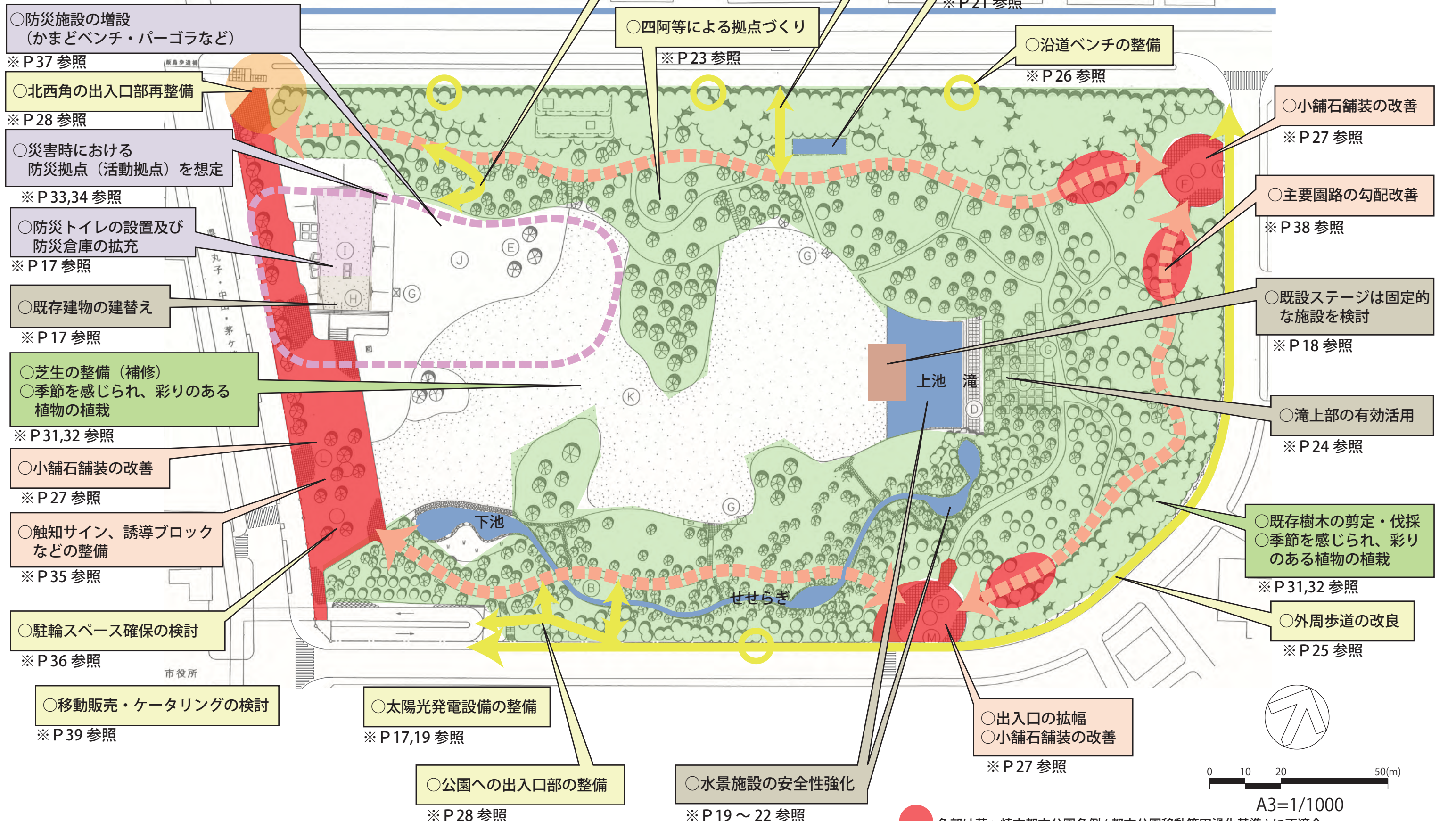
◆整備カテゴリ（5）その他

- ・ 沿道ベンチの整備
- ・ 外周歩道の改良
- ・ 広場へのアプローチ部の整備
- ・ 公園への出入口部の整備
- ・ 北西角の出入口部再整備
- ・ 四阿等による拠点づくり
- ・ 駐輪スペース確保の検討
- ・ 遊具の設置を検討
- ・ 既設ピオトープの撤去
- ・ 飯島雨水幹線及び桜並木の公園内への取り込みの可能性を研究
- ・ 移動販売・ケータリングの検討
- ・ 太陽光発電の導入検討

中央公園再整備方針概要図

全体方針

1. 現況の景観や緑を保全しつつ、老朽化した施設を再整備します。
2. 幅広い世代が利用しやすい公園をつくります。
3. 災害時に対応できる機能・施設を充実させます。



7. 主要施設の再整備内容

全体方針を受け、主要施設の再整備内容を次頁以降に検討します。
検討項目は以下のとおりです。

- ◆ 建物の整備
- ◆ ステージ配置
- ◆ 水の循環系統
- ◆ 水景施設
- ◆ 四阿による拠点づくり
- ◆ 滝上部の有効活用
- ◆ 外周歩道の改良及び沿道ベンチの整備
- ◆ 小舗石舗装改修
- ◆ 公園出入口部の整備
- ◆ 植栽
- ◆ 災害時のゾーニング計画
- ◆ 触知サイン、誘導ブロックなどの整備
- ◆ 駐輪スペース確保の検討
- ◆ 防災施設の増設
- ◆ 主要園路の勾配改善
- ◆ その他検討課題

◆ 建物の整備

■ 現況課題

施設の老朽化や半地下構造により、暗い印象があり安全性が懸念されています。

また、現状の防災倉庫では防災関連物資を必要量備蓄出来ておらず、イベント時等のトイレ不足も生じています。

■ 整備方針

- ・ 既存建物を撤去後、機能拡張して建替えます。
- ・ 地上一階建とすることにより、明るく見通しを良くし、安全・安心の確保を図ります。
- ・ 新規建物規模は既存建物に対して防災倉庫部約 2 倍、トイレ約 1.5 倍とし、防災関連物資の備蓄量確保と、イベント時等のトイレ不足の解消を図ります。
- ・ 災害時に活用可能なトイレを整備します。
- ・ 建物屋上部等に太陽光発電設備の導入を検討します。

なお、建物の配置については今後検討していくものとします。

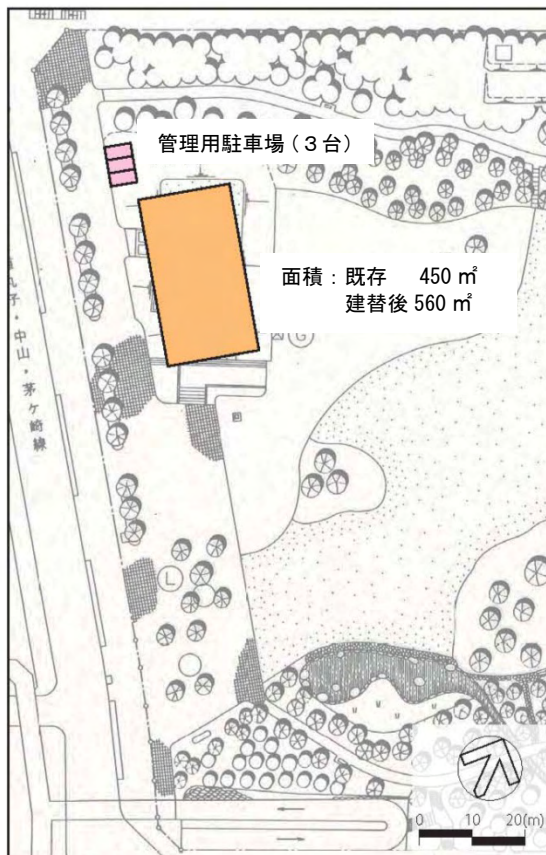


図 建物整備イメージ平面図



写真 現況のトイレ

◆ ステージ配置

■ 現況課題

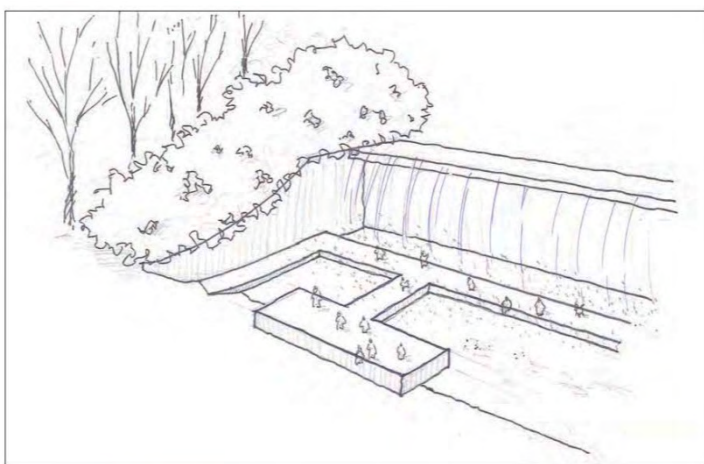
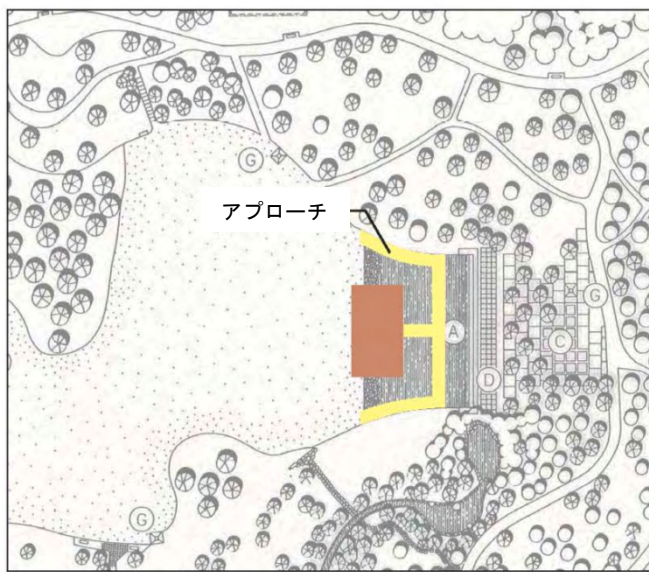
イベントに使用しているため、安全の確保が求められています。
木造ステージのため、上池に浸かっている部分の腐食が進行しています。

■ 整備方針

- ・再整備に伴い、長期の使用に耐える構造物（既存ステージと同程度）を築造します。
- ・水景施設（滝及び上池）の再整備に伴い、滝に近づけるアプローチを整備します。



写真 現況のステージ



図中  は、既存ステージ（18m×10m）を示す。

図 建物整備イメージ平面図及びスケッチ

◆ 水の循環系統

■ 現況課題

滝、上池、せせらぎ、下池が 1 つの系統になっています。循環水はろ過機故障のため使用することが出来ません。また、給・排水管の老朽化が進行しています。

■ 整備方針

- ・ 滝とせせらぎの循環系統を分離します。
- ・ 滝循環系は、ろ過機を再整備して上池と壁泉間で循環させ、親水利用への対応を図ります。
- ・ せせらぎ循環系は、上池を介さずに、せせらぎと下池間で循環させます。
- ・ ポンプ等に太陽光発電設備の導入を検討します。
- ・ 給・排水管の改修整備を行います。

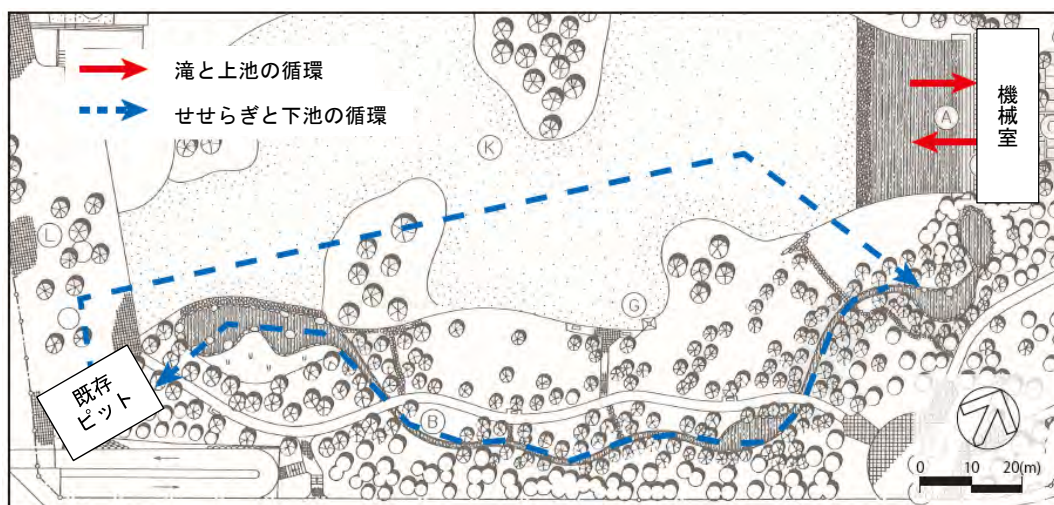


図 計画フロー平面イメージ図

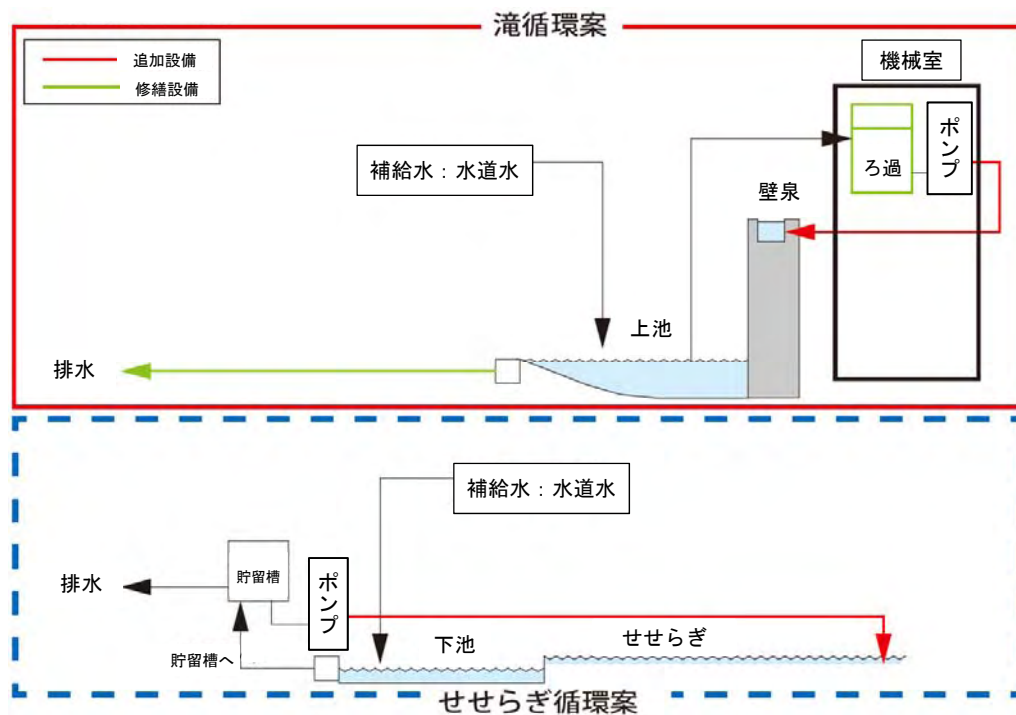


図 計画フロー図

◆ 水景施設 滝池の再整備

■ 現況課題

水質の確保が出来ておらず、親水機能がありません。

■ 整備方針

- ・ 滝循環系は、ろ過機を再整備して上池と滝で循環させ、親水利用（ジャブジャブ池）への対応を図ります。
- ・ 滝池の整備イメージは“都市の緑空間にふさわしい「美しい水辺」の想像”とします。



写真 滝、上池の現況



写真 落水（現況）

最もダイナミックな水の動きであり、
迫力ある風景をつくることが可能。
（現況と大きく変えることなく整備が
可能）



写真 整備イメージ ジャブジャブ池

ろ過装置+滅菌処理により、ジャブジャ
ブ池として池の中に入ることが可能。



図 滝池部断面図

◆ 水景施設 せせらぎの整備

■ 現況課題

間欠的な放流のため、水が流れない時間帯があり、生物生息空間としては厳しい状況となっています。

下池には藻が発生し、北側のビオトープは活用されていません。

■ 整備方針

- ・せせらぎの縦断面を工夫し、ろ過装置を設けないことにより、生物生息空間を造成します。
- ・循環系を工夫することにより、長時間放流を図ります。
- ・せせらぎ循環系は、上池を介さずに、せせらぎと下池間で循環させます。
- ・北側のビオトープは撤去します。

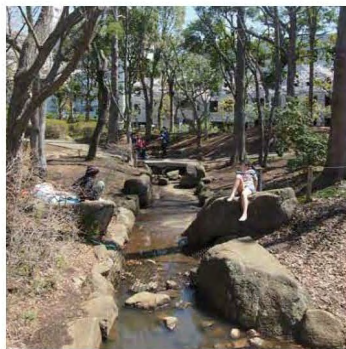
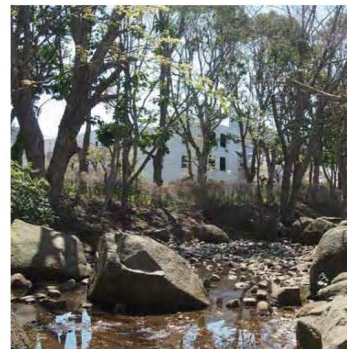


写真 せせらぎ、下池の現況



写真 北側ビオトープ

○せせらぎ



- ・小段差工を整備し、上流側に水深を持たせると共に、流速や深さの変化など、生物多様性を図る。
- ・渇水時間帯に待避できる凹地を整備する。

図 せせらぎ整備 イメージスケッチ

○下池

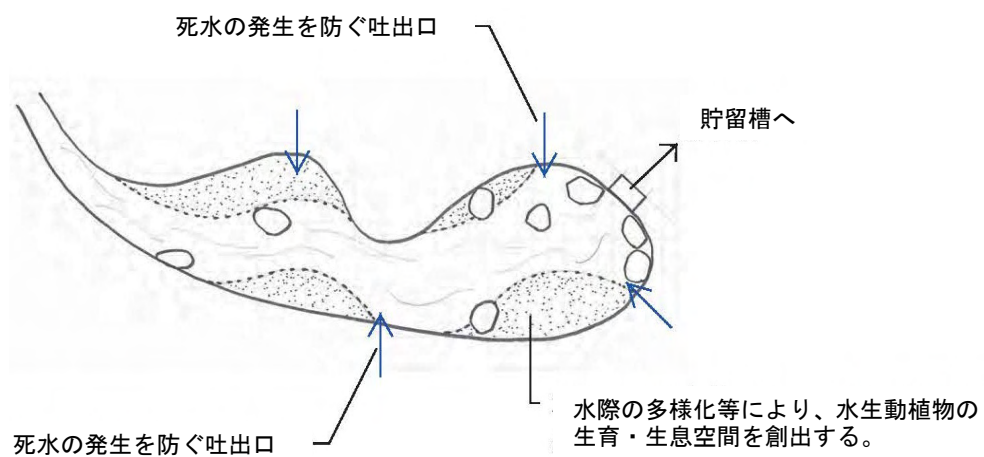


図 下池整備 イメージ平面図

◆ 四阿等による拠点づくり

■ 現況課題

主要園路の脇にあるスペースは、巨石によって1つのまとまりを持っているものの、石の汚れや無機質感によって利用度が低くなっています。

斜面部にある大きく成長した低木により、公園の中心的な利用場所である中央部分の芝生広場からの視認性が悪く、利用度が向上していません。

■ 整備方針

- ・ 四阿等により、清潔感のある休憩施設に改変します。(災害時には着替えスペースとして活用)
- ・ 斜面にある低木の一部を伐採し、中央の芝生広場との相互の視認性を高め、利用度を向上させます。

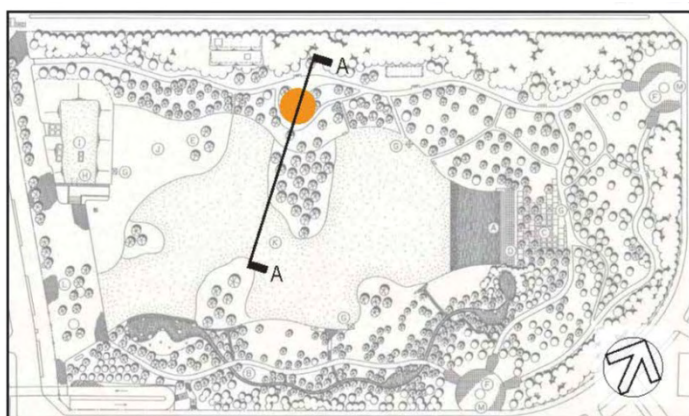


図 断面位置

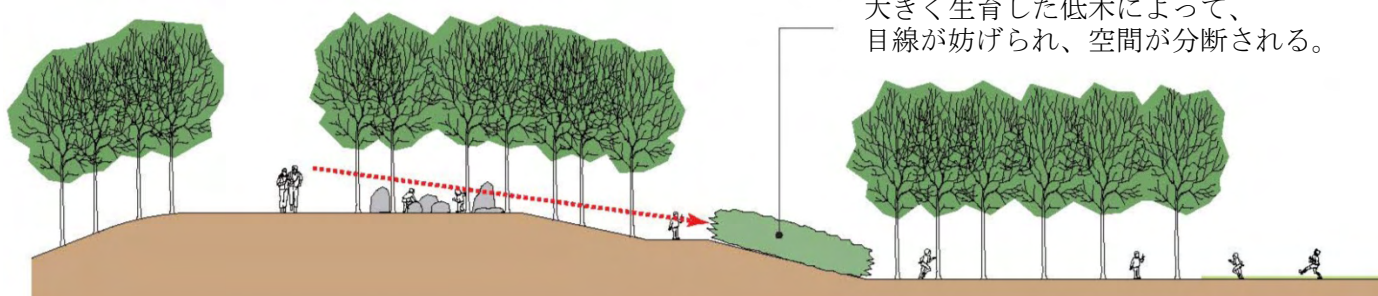


図 A-A 断面図（整備前）

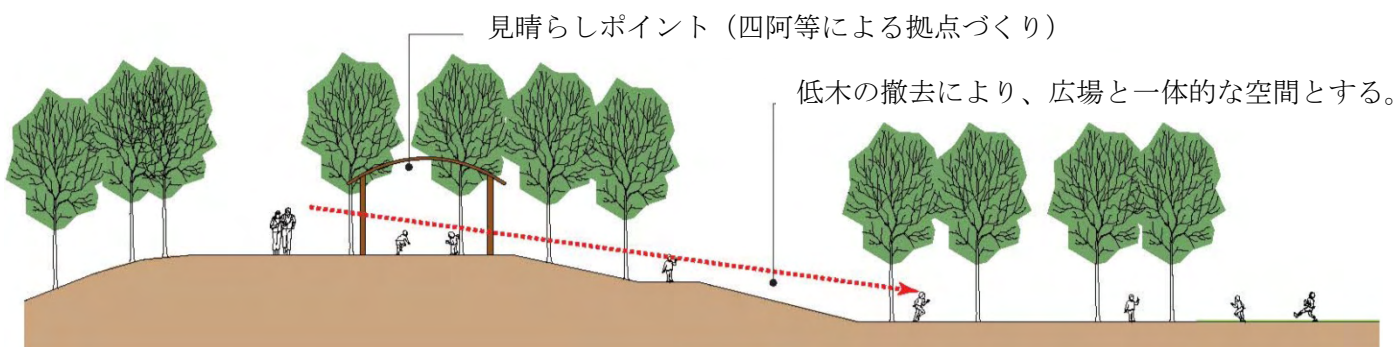


図 A-A 断面図（整備後）

◆滝上部の有効活用

■現況課題

滝の周囲は高木もあるが、上部については草木が多く、やや貧相な景観を呈しています。滝の上部は比較的用户者が少なく、公園内で最も標高が高い位置で眺望に恵まれている利点を活かしていません。

■整備方針

- ・見晴らしポイントとして中央の芝生広場やジャブジャブ池が見渡せる広場を整備します。
- ・安全性に配慮しつつ視点場を前面に移動し、また、草本類に代えて花木の低木植栽を施すことで人工構造物との調和を図ります。



写真 滝上部の現況

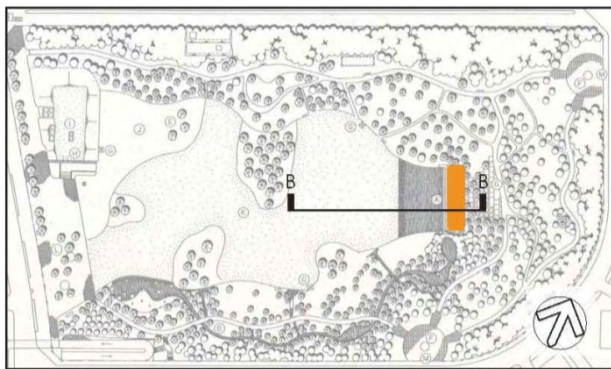
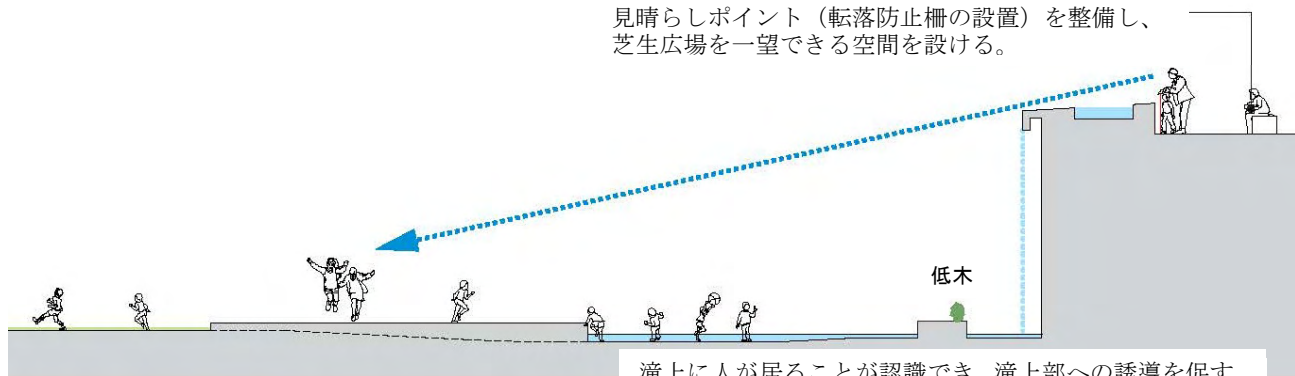


図 断面位置

見晴らしポイント（転落防止柵の設置）を整備し、芝生広場を一望できる空間を設ける。



滝上に人が居ることが認識でき、滝上部への誘導を促す。

図 B-B 断面図

◆外周歩道の改良及び沿道ベンチの整備

■現況課題

現状の外周歩道は幅員が狭く、すれ違い時に不便となっているとともに、公園側の植栽と街路樹で歩行者に圧迫感を与えるような状況となっています。また、外周歩道沿いに休憩用スペースがありません。

■整備方針（外周歩道改良）

- ・ 植栽帯の低木撤去及び中木の配置を検討することにより、歩道空間を確保出来るよう改良します。
- ・ 撤去する街路樹は公園内に移植する等の再利用を検討します。

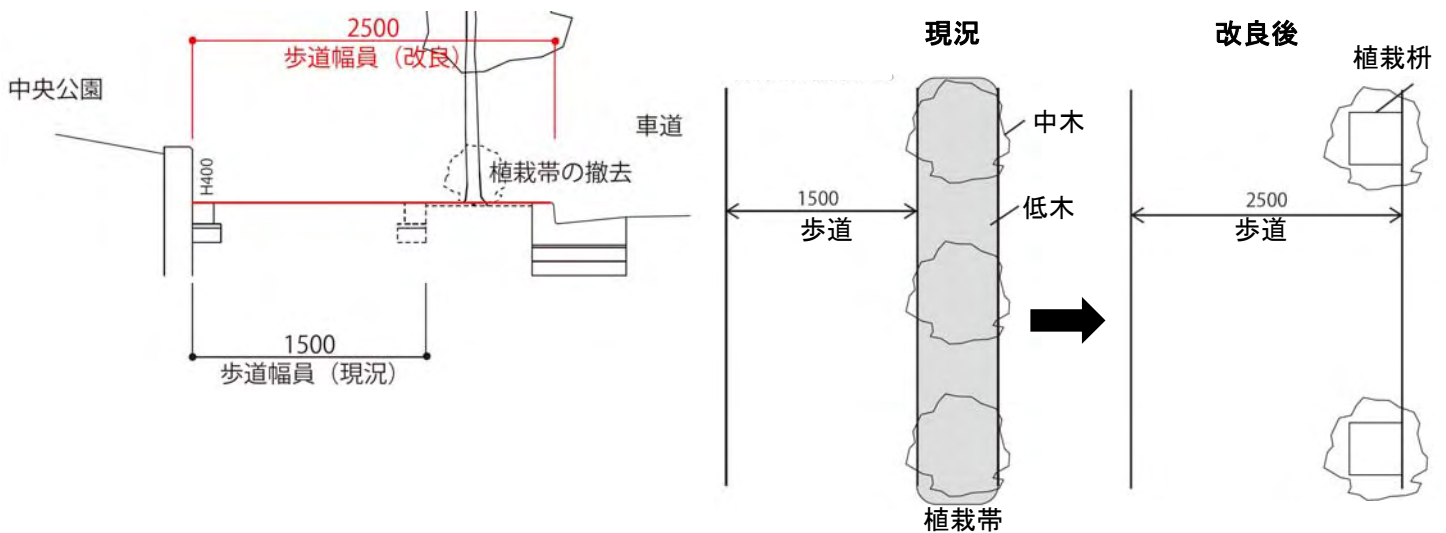


図 整備イメージ図



写真 外周歩道の現況



写真 植栽撤去時のイメージ

■整備方針（沿道ベンチ）

- ・外周歩道沿いに休憩用スペース（ベンチ）を設けます。

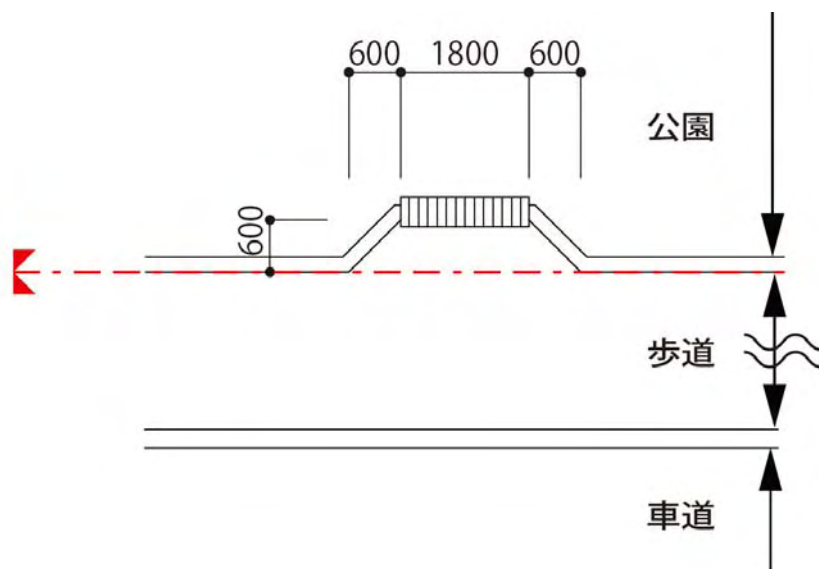


図 平面図

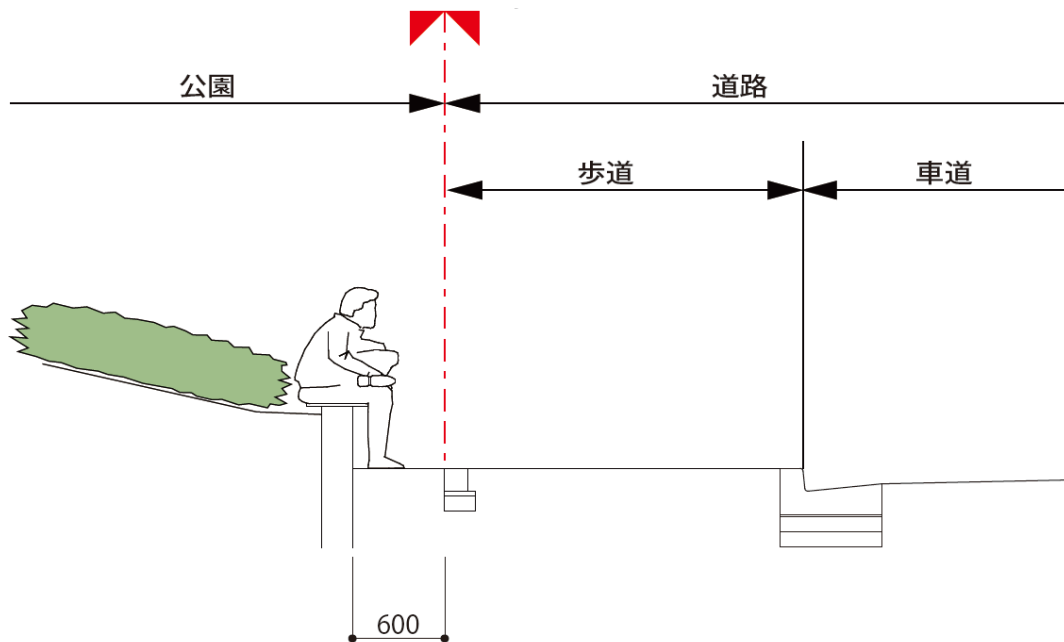


図 断面図

◆小舗石舗装改修

■現況課題

中央公園の全ての出入口は小舗石舗装となっており、凹凸が著しいことから、歩行や車イスの通行に支障があり、バリアフリーに対応していません。

■整備方針

- ・現状の小舗石舗装の一部をインターロッキング舗装により園路を設ける形で整備し、平滑な形状のものとします。

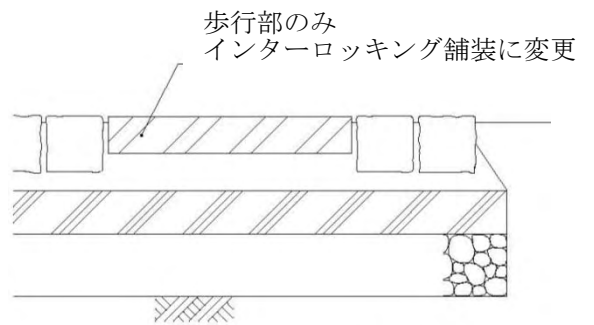


図 断面図



写真 小舗石舗装の現況

写真 整備イメージ
(インターロッキング舗装の事例)

◆公園出入口部の整備

■現況課題（北西角公園出入口）

北西角の出入口部は視認性が低く、エントランスとしての誘導効果が低くなっています。隣接する東西方向の歩道は、横断歩道橋があることから狭く、出会い頭の衝突などの危険性が高くなっています。

■整備方針（北西角公園出入口）

- ・植栽帯の一部を出入口部及び歩道に改変し、エントランスとしての風格及び歩道通行上の安全性を高めます。

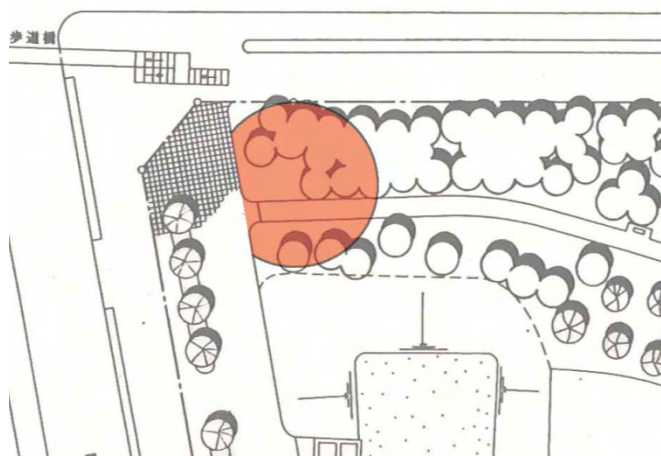


図 平面図

■現況課題（南側公園出入口）

出入口及びふれあい橋とのアプローチが階段となっており、バリアフリーになっていません。

■整備方針（南側公園出入口）

- ・出入口を東に移動し、平面（斜面）状のアプローチとします。
- ・ふれあい橋へのショートカットの階段は移設します（斜路も新設）。

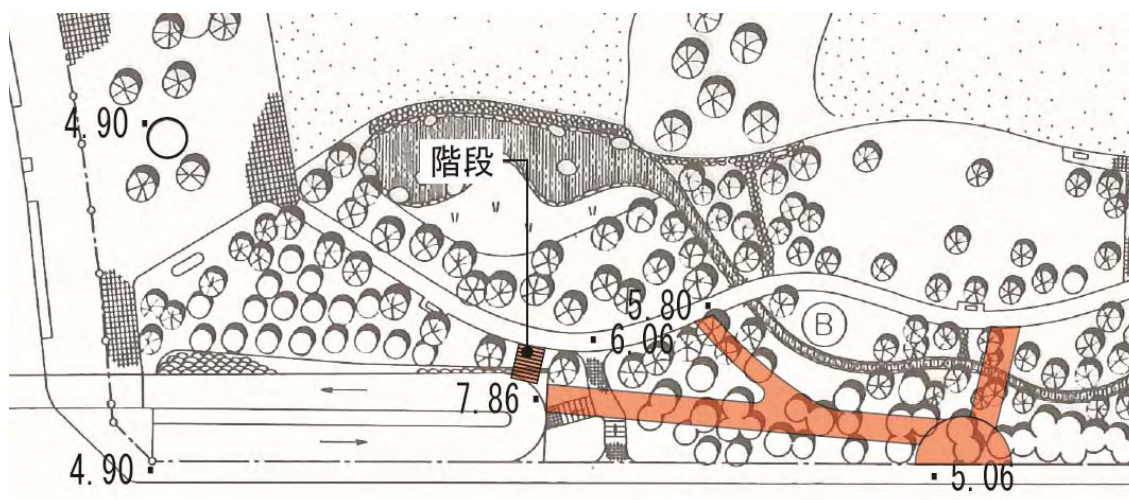


図 平面図

■現況課題（北側公園出入口部）

公園の北側は両角部に出入口はあるものの、東西方向の途中には出入口が無く、利用ルートを選択肢が少なくなっています。新国道線の横断歩道が公園の東西方向の中央部にありますが、公園の出入口がありません。

■整備方針（北側公園出入口部）

- ・上記歩道の正面に公園出入口を新設します。この出入口と主要園路を結ぶ園路を新設します。

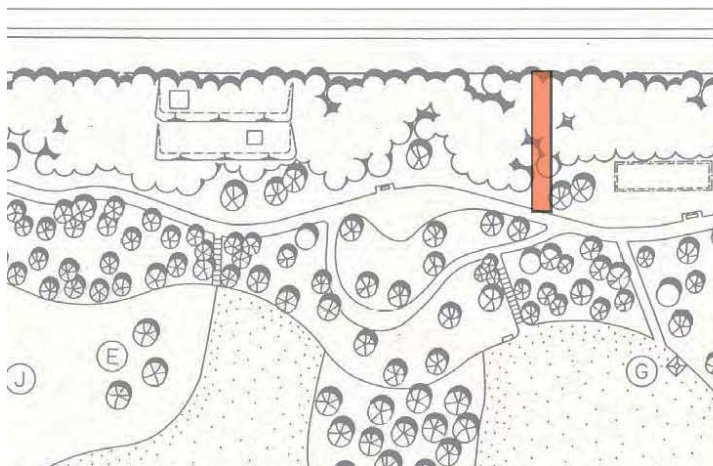


図 平面図

■現況課題（北西側広場アプローチ）

北側主要園路と中央芝生広場とのアプローチが急勾配の園路のみとなっています。

■整備方針（北西側広場アプローチ）

- ・北西側に広場と主要園路を結ぶアプローチ園路を新設します。

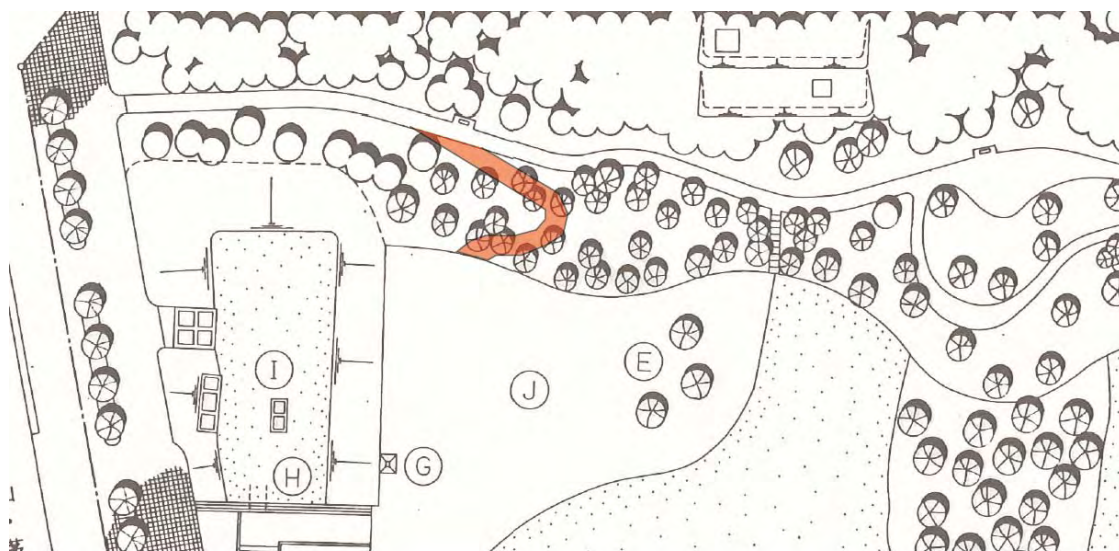


図 平面図

<移動円滑化に関する関連条例等>

※茅ヶ崎市都市公園条例（昭和 59 年条例第 4 号）

（平成 25 年 4 月 1 日に一部条例改正）縦断こう配は、4% 以下とすること。ただし、地形の状況等によりやむを得ない場合は、8%以下とすることができる。

参考：神奈川県条例「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」（平成 7 年条例第 5 号）

縦断こう配は、4% 以下とすること。ただし、地形の状況等によりやむを得ない場合は、8% 以下とすることができる。

参考：国省令「移動円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令」

歩道等の縦断勾配は、5% 以下とするものとする。ただし、地形の状況その他の特別の理由によりやむを得ない場合においては 8% 以下とすることができる。

◆植栽

■現況課題

公園外周部の樹林地は、経年による樹木の生長により、林床まで太陽光が届きにくい状況になっていることから、裸地化した表土が、雨水により洗い流され根が露出したり、堅く滑りやすい状況となっています。また、芝生広場は裸地化が進行し、雨水が溜まりやすい状況になっています。

□北歩道側斜面地



□東側斜面地



□中央ケヤキ林



□北芝生広場側斜面地



写真 植栽の現況

■整備方針

- ・樹木を間伐し、林床まで太陽光が届きやすい状況を作ります。
- ・ゾーン毎で特徴が出やすいように特定の樹木を保全（もしくは間伐）すると共に、生育不良や極端に樹形の悪い樹木から伐採します。
- ・中央芝生広場に面した斜面地では、切株ベンチとして使用できるように伐採をします。
- ・裸地化した部分の土壌改良を行い、露出した根を土で覆い整地します。
- ・園路沿いに四季折々の花が楽しめる植物を植栽します。
- ・芝生広場の再生に向けた整備について検討します。

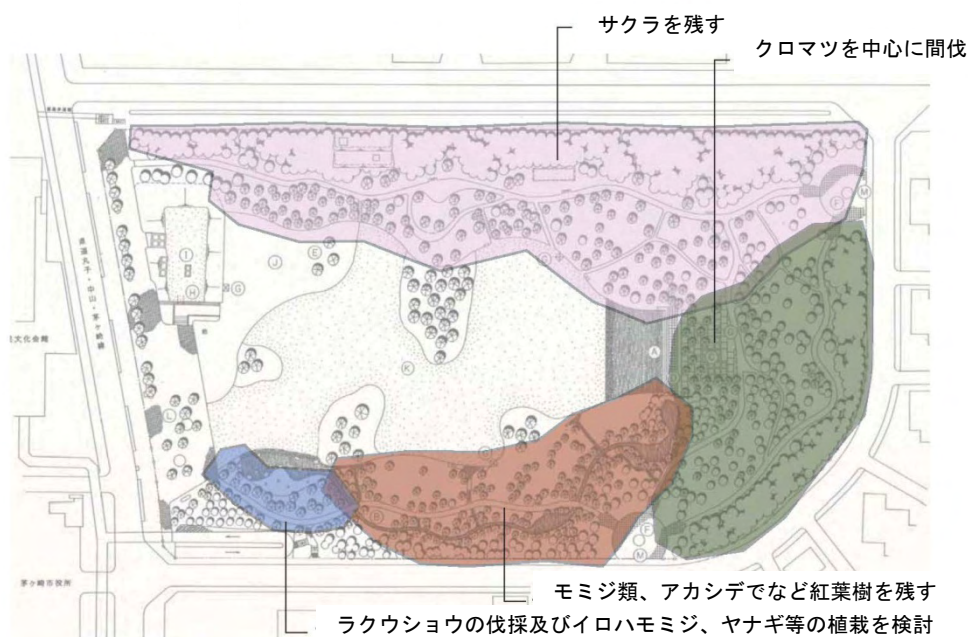


図 樹木整備方針図



タチツボスミレ
花期：3月～5月



フキ
花期：3月～5月



シャガ
花期：4月～6月



キボウシ
花期：6月～8月



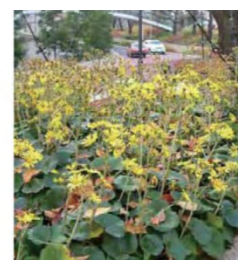
メドハギ
花期：3月～5月



ヤブラン
花期：8月～10月



ホトトギス
花期：8月～10月



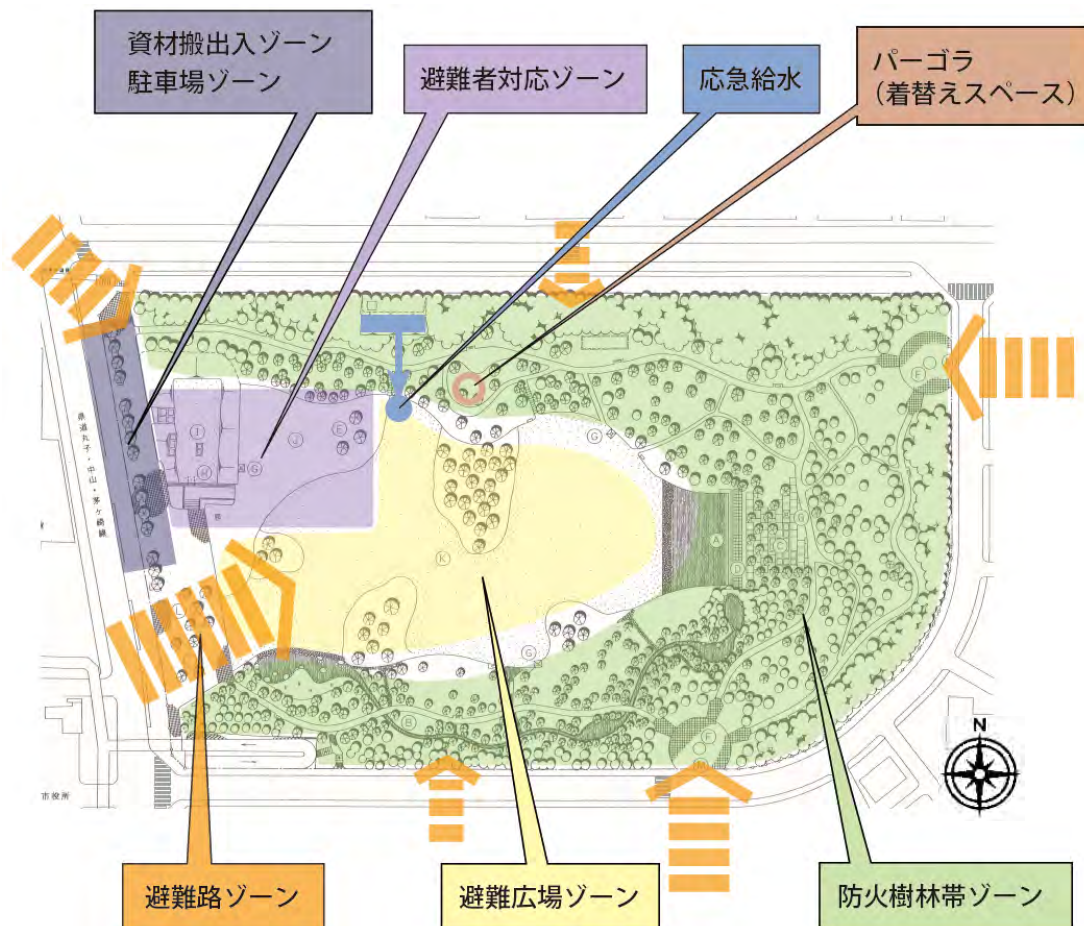
ツワブキ
花期：10月～12月

写真 林床の候補樹種

◆災害時のゾーニング計画

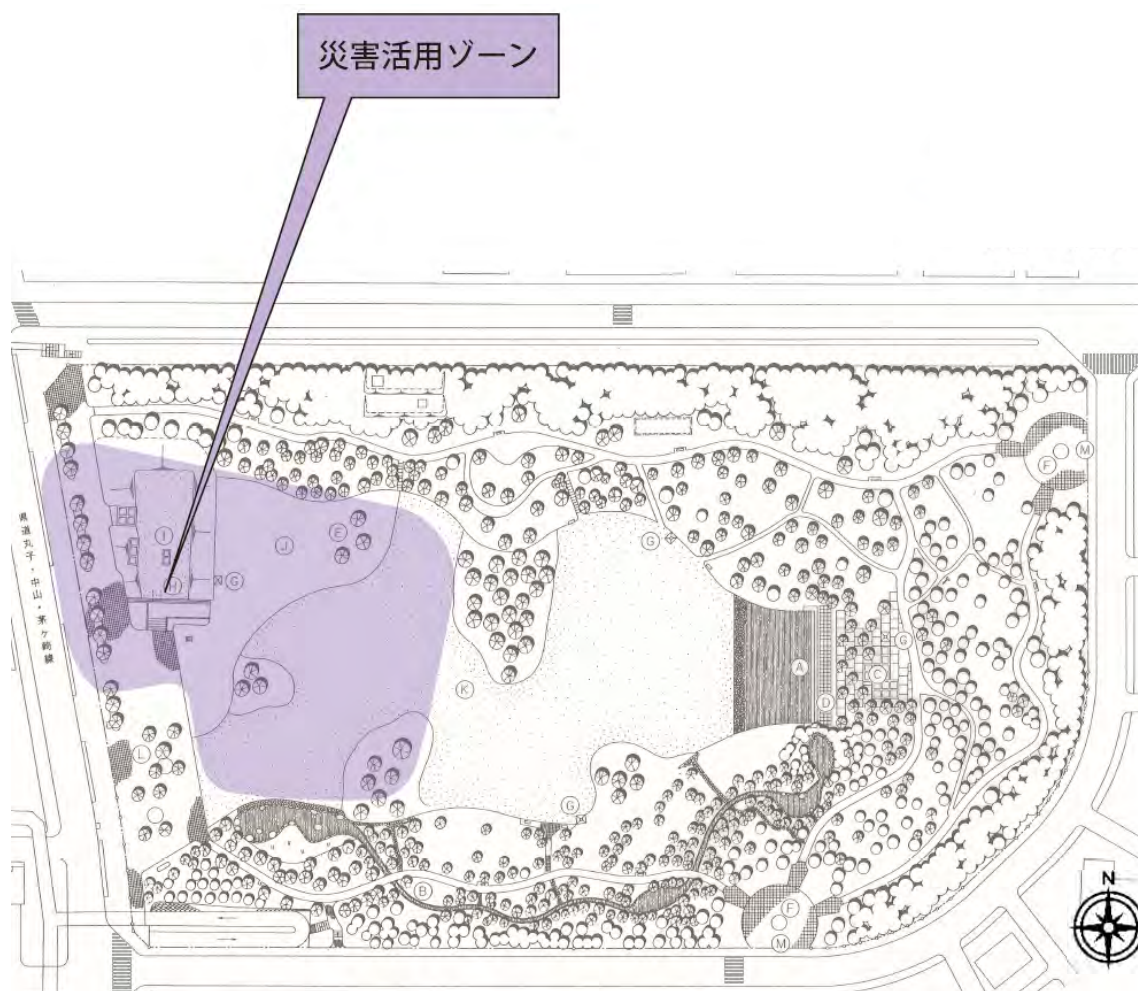
災害時のゾーニング計画を、①発災直後（避難者あり）、②避難先へ移動後に分け、以下に整理します。

①発災直後（避難者あり）



資材搬出入ゾーン 駐車場ゾーン	茅ヶ崎市地域防災計画では、中央公園（他7か所）を災害時における応援部隊の活動拠点のひとつとしています。よって、資材搬出入ゾーンを応援部隊の活動車等の駐車スペースとして活用することが考えられます。
避難者対応ゾーン	茅ヶ崎市地域防災計画では、中央公園（他7か所）を災害時における応援部隊の活動拠点のひとつとしています。よって、避難者対応ゾーンを応援部隊のテント設置場所等として活用することが考えられます。
応急給水	中央公園には100トン水槽（飲料水兼用貯水槽）があることから、必要器具と接続し応急給水場所を設置することが考えられます。
避難広場ゾーン	芝生広場としての約1.7ヘクタールの大部分にあたる避難広場ゾーンは、避難者の集まるスペースとなることが考えられます。
防火樹林帯ゾーン	遮蔽物としての機能（樹木が輻射熱、火の粉、炎を遮断。また消火活動や避難行動を容易にする）、空間としての機能（数m程度の空間が火災熱を減衰）、水の供給源としての機能（樹木自身と周辺の温度上昇を防ぐ）から必要と考えられます。
パーゴラ (着替えスペース)	支柱にブルーシート等を被せ、更衣室や授乳室、簡易トイレ等の活用が考えられます。

②避難先へ移動後



災害活用ゾーン

【車両駐車場として活用】

- ・災害発生時における応援部隊等の連絡車両の駐車場として活用します。
- ・応援部隊として、DMAT（災害派遣医療チーム）・日本赤十字医療チーム・緊急消防援助隊・警察災害派遣隊・自衛隊派遣等の連絡車両を想定します。
- ・国からの応援物資車両等の振り分け場所として活用します。
- ・防災倉庫の資機材を搬入・搬出する車両の駐車場として活用します。

【付近住民等の活用】

- ・100 トンの飲料水兼用耐震性貯水槽からの給水を行います。
- ・防災井戸を災害用水洗トイレ、付近住民の生活用水（水質で判断する）として活用します。

※白地部分は、公園としての利用を再開する。

◆触知サイン、誘導ブロックなどの整備

■現況課題

公園内には触知サイン、誘導ブロックがなくバリアフリーに対応していません。

■整備方針

- ・誘導ブロックを主要園路に整備します。
- ・触知サインを主要出入口、トイレ等に設置します。
- ・公共サインガイドライン（現在策定中）との整合を図ります。



写真 触知サイン整備イメージ



写真 誘導ブロック整備イメージ

◆駐輪スペース確保の検討

■現況課題

明確な駐輪スペースが整備されておらず、公園出入口付近が雑多な雰囲気となっています。また、公園利用者以外の駐輪が多く見受けられます。

■整備方針

- ・駐輪スペースの整備にあたっては周辺公共施設の配置状況や実態調査等を踏まえて検討します。
- ・管理にあたっては、監視の強化等の対策を検討していきます。



写真 自転車駐輪の現況

◆防災施設の増設（かまどベンチ、パーゴラなど）

■現況課題

園内には休憩施設が少なく、公園利用者からもベンチ等を増やしてほしいとの要望が出ています。

■整備方針

- ・ かまどベンチやパーゴラを増設し、災害時にも使用出来る設備の充実を図ります。



写真 現在設置しているかまどベンチ



写真 かまどベンチの活用例



写真 パーゴライメージ



写真 パーゴラ災害時利用イメージ

◆主要園路の勾配改善

■現況課題

主要園路には急勾配の箇所があり、茅ヶ崎市都市公園条例(都市公園移動等円滑化基準)に不適合となっています。

■整備方針

- ・主要園路の勾配を改善及び迂回路の増設等により、誰もが利用できる園路として再整備します。



写真 現況の急勾配部分（北東部入口部）

◆その他検討課題

○移動販売・ケータリングの検討

移動販売・ケータリングについては、他の事例を参考に可能性を検討していきます。

○飯島雨水幹線及び桜並木

新国道線整備時期を見据えて、飯島雨水幹線及び桜並木の公園内の取り込みの可能性を研究していきます。

○遊具設置の検討

遊具の設置については、整備を行う中で引き続きその可能性を検討していきます。

8. 整備スケジュール

事業種別	事業内容	第3次実施計画				次期実施計画		備考
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
調査設計		○	○					
建物整備、防災対応								
建物撤去	西側出入口付近にトイレ棟の新設1棟		○					
新築	管理事務所・倉庫・トイレが一体となった建物の建て直し		○					
防災トイレの設備敷設	災害時用の応急トイレ設置用のマンホール、管渠の敷設		○					必要数はトイレ棟規模との相関による
防災施設の増設(かまどベンチ・パーゴラなど)	災害時に着替え場所やかまどとして転用できる施設の整備			○				
防災倉庫の拡充	防災倉庫を拡充する		○					
バリアフリー化								
現況出入口部の舗装改良	小舗石舗装の凹凸の改善				○			
病院駐車場側の出入口部改良	階段になっている出入口部および歩道橋へのアプローチ改善				○			
主要園路の勾配改善	主要散策路急勾配部の改善					○		
広場へのアプローチ部の整備	北側の主要散策路と広場をつなぐバリアフリー対応の通路の新設					○		
出入口の改良・新設等								
北西部出入口の整備	多くの人が利用する交差点に面した北西部の既存出入口が狭いため拡幅整備する					○		
北部出入口の整備	北側には1箇所も出入口がないことから、中央部の横断歩道接続部に新設する					○		
外周歩道部の拡幅	公園南側から東側の歩道について拡幅する					○		計画案によっては道路事業で対応
植栽整備								
既存樹木等の剪定・伐採	繁茂した既存樹木の剪定・伐採			○				
花木等の新植	四季折々に咲く花木の新植						○	
芝生の整備(補修)	生育状況の悪い芝生の整備・補修						○	
水景施設								
水景施設の安全性強化(滝・上池)	施設の老朽化、水質悪化、近づきにくい等から、親水利用が可能な改良を行う			○				
水景施設の安全性強化(せせらぎ)	施設の老朽化、水質悪化、生物生息環境改善の必要性等から、生物とのふれあいが可能な改良を行う			○				
その他の施設								
ステージの整備	仮復旧したステージについて、長期間使用可能なものとして再整備する						○	
滝上部の有効活用	滝上の広場について、滝下の広場やステージを見渡せる様に改良する						○	
四阿等による拠点づくり	北部の散策路沿いの広場について、利用性向上のため、見晴らしを改良する						○	
ベンチ等の増設	ベンチ、パーゴラ等を増設						○	
触知サイン・案内板等の設置	サインの新設、音声解説付きの案内板の新設						○	
沿道ベンチの整備	外周歩道部の小擁壁の一部を改良し、休憩スペースとする					○		
既設ビオトープの撤去	既設のビオトープを撤去する			○				
太陽光発電の導入検討	太陽光発電の導入を検討する							検討課題
駐輪スペース確保の検討	駐輪スペース確保について検討する。							検討課題
移動販売・ケータリングの検討	公園利用者および近隣への来訪者へのサービスとして導入の可能性を検討する							検討課題
飯島雨水幹線の取り込み可能性の検討	新国道線整備時期を見据えて、飯島雨水幹線及び桜並木の公園内への取り込みの可能性を研究							検討課題
遊具の設置検討	現状では配されていない遊具については、設置について検討する							検討課題

中央公園再整備計画

平成27 年（2015 年）3 月発行

発 行
編 集

茅ヶ崎市

建設部公園緑地課

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1 番1 号

電 話 : 0467-82-1111（代表） 内線2591

F A X : 0467-57-8377

ホームページ： <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/>

